

# 国際武道大学トレーナーチーム 救護活動概要

私たちは大学学内・外のスポーツ医・科学サポートを目的に活動しています。

平日は大学生アスリートを対象にケガ後のリハビリや各クラブでの救急対応・トレーニング指導などを行っています。

休日には様々な年代・種目の競技大会における救護活動等を行っています。

## ◇今大会での活動について

### ★対応内容

主に試合中に発生した怪我等の救急対応を担当します

✓スポーツ現場で重篤な事故につながる

心停止・頭頸部外傷・熱中症などの対応

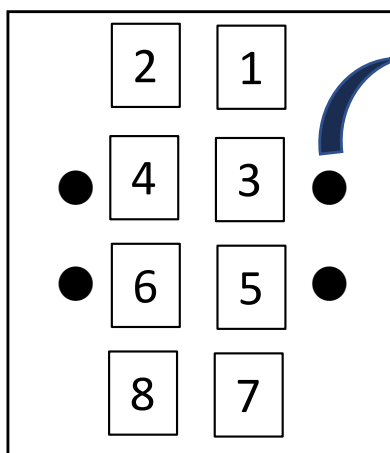


✓その他スポーツ傷害への対応（アイシング・創傷処置など）

### ★大会当日の配置

試合場内救護トレーナー：第2試合場側 2名、第1試合場側 2名

会場内救護室・その他巡回：4名



(ビブスを着用)



(救護イメージ)

対応が必要な際は、各試合場の審判主任の判断で  
試合場後方に待機している救護トレーナーに声かけていただく  
または、合図をしていただければ対応いたします

# 傷害発生時のフローチャート

救護室で  
対応が必要な  
場合

□ 対応  
◇ 判断

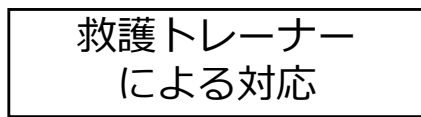


※審判主任の判断で、救護対応が必要な場合は救護トレーナーを呼ぶ。

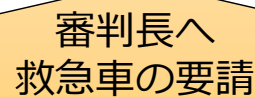


緊急性なし

緊急性あり



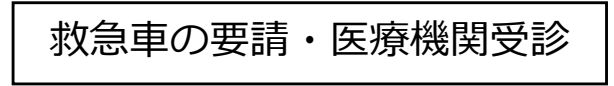
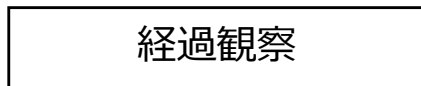
必要なし



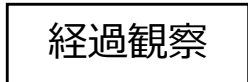
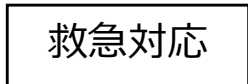
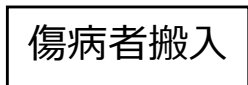
必要あり

その場での対応

必要に応じて  
搬送



※救急車の要請は大会責任者が行う。  
救急車の誘導は、救護トレーナーと大会スタッフが連携を取り行う。



# 災害時等における緊急時のフローチャート

